

当院にて紫斑病性腎症(IgA 血管炎)でご加療中の方へ

当院では「成人紫斑病性腎症の予後に関する観察研究(多施設共同研究)」を実施しております。この研究は、未だに実態がよく分かっていない紫斑病性腎症(IgA 血管炎)について、患者さんが受けた初期治療の内容や腎機能障害の進行に影響する要因を検討するために、全国の施設で共同実施している調査・研究です。

【対象となる方】

2007年7月1日より2012年12月末までに本院で紫斑病性腎症と診断された方

【研究の目的・意義】

紫斑病性腎症患者において、初期治療の内容や腎機能障害の進行に影響する要因を詳しく調査することで、紫斑病性腎症の悪化要因の解明や将来的な初期治療方法の標準化の確立に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省・文部科学省が示した「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、外来主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局へ平成29年2月28日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。

収集されたデータは、個人が特定できない形式で厳重に管理され、研究終了後5年間保存されます。研究で得られた成果は学会等で発表されることがあります。

なお、研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示致します。下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

この研究について疑問のある方やデータの使用を希望されない方は下記のお問い合わせ先にご相談ください。

【利益相反】

この研究課題を実施する関係者にはキッセイ薬品工業(株)、鳥居薬品(株)、中外製薬(株)、協和発酵キリン(株)、アステラス製薬(株)、帝人ファーマ(株)、武田薬品工業(株)、第一三共(株)、日本ベーリンガーインゲルハイム(株)、MSD(株)、大日本住友製薬(株)、ファイザー(株)、大塚製薬(株)より奨学寄付金、及び日本ベーリンガーインゲルハイム(株)、富士薬品(株)、三和化学(株)、大正製薬(株)より受託研究の受け入れ、及び第一三共(株)、武田薬品工業(株)、大日本住友製薬(株)、中外製薬(株)、大塚製薬(株)、アステラス製薬(株)、協和発酵キリン(株)、三和化学(株)から報酬・謝礼・原稿料の受け入れがあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。上記企業は本研究とは直接関係のない企業です。

平成 28 年 7 月 25 日

問い合わせ先

E-mail: jin@med.kawasaki-m.ac.jp

電話: 086(462)1111 FAX: 086(462)1199

研究責任者: 腎臓・高血圧内科学 教授 佐々木 環

問い合わせ担当者: 腎臓・高血圧内科学 臨床助教 板野 精之